

資料	
----	--

# 奥州市 景気動向調査報告書

実績：令和2年7月～令和2年9月期

見通し：令和2年10月～令和2年12月期

令和2年11月  
奥州商工会議所  
前沢商工会

調整ページ

# 奥州市景気動向調査結果（概要版）

〔実績：令和2年 7月～令和2年 9月期〕  
〔見通し：令和2年 10月～令和2年 12月期〕

## 「全産業の業況DI、売上DI共に改善 先行きは業況、売上共緩やかに改善見通しを示す」

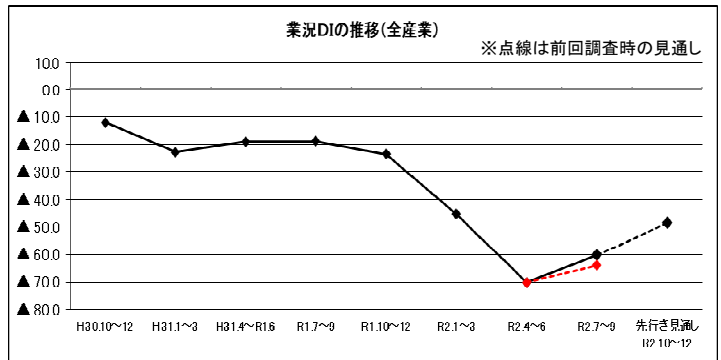
### 【ポイント】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲60.2と、前回調査(▲70.2)から10.0ポイント改善した。業種別では全産業マイナスの数値ではあるが小売・卸売・建設・サービス業で前回よりも数値が改善を示す結果となった。しかし製造業では大きくマイナス幅が拡大する結果となった。

向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、業況DIが全体で▲48.4ポイントとマイナスながら前回見通しを上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。売上DIについても▲52.6ポイントとマイナスながら前回調査(▲67.7)を上回り、回復への期待を示す結果となった。

※業種別、設問別のDI値一覧表（実績：上段）（見通し下段）

	業況	売上高	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
全産業	▲60.2	▲64.8	▲58.6	▲33.6	▲18.1	8.7
	▲48.4	▲52.6	▲51.8	▲36.3	▲23.6	14.5
小売業	▲70.2	▲70.2	▲70.2	▲29.8	▲6.5	17.4
	▲54.3	▲63.0	▲56.5	▲34.8	▲15.6	20.0
卸売業	▲56.7	▲63.3	▲56.7	▲46.7	▲41.4	3.3
	▲58.6	▲58.6	▲55.2	▲41.4	▲40.7	6.9
製造業	▲81.8	▲83.6	▲69.1	▲45.5	▲9.1	▲14.5
	▲50.9	▲52.7	▲58.2	▲41.8	▲23.6	▲3.6
建設業	▲24.5	▲39.6	▲34.0	▲7.5	▲26.4	28.8
	▲23.5	▲28.8	▲30.8	▲21.2	▲19.2	31.4
サービス業	▲64.8	▲66.2	▲62.0	▲40.8	▲16.9	8.6
	▲56.5	▲60.9	▲58.0	▲42.0	▲25.4	16.2



### 【従業員の状況について】

全産業合計の従業員DIは8.7と、前回(7.1)から1.6ポイントと若干ではあるが悪化し人手不足感を示す結果となった。業種別では小売・卸売・製造業で人手不足感が緩和、建設・サービス業で人手不足感が強まった。特に製造業は▲14.5ポイント(前回▲12.7)と従業員の過剰状態が継続している。

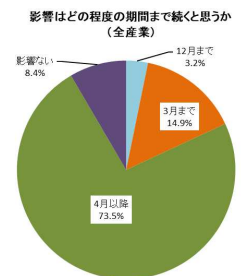
向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、14.5と前回(10.4)よりも人手不足感を強める見通しとなった。

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	8.7	17.4	3.3	▲14.5	28.8	8.6
前回	7.1	17.8	6.9	▲12.7	25.5	1.4

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	14.5	20.0	6.9	▲3.6	31.4	16.2
前回	10.4	17.8	6.9	▲11.3	33.3	6.9

### 【新型コロナウイルスの影響について】

新型コロナの影響は感覚的にどの程度の期間まで続くかという設問には、73.5%が「来年4月以降まで続く」と回答、業種別でも4月以降と回答した事業所が大半を占めた。多くの事業所で新型コロナの影響が長期的に続くことを危惧している事が伺える。

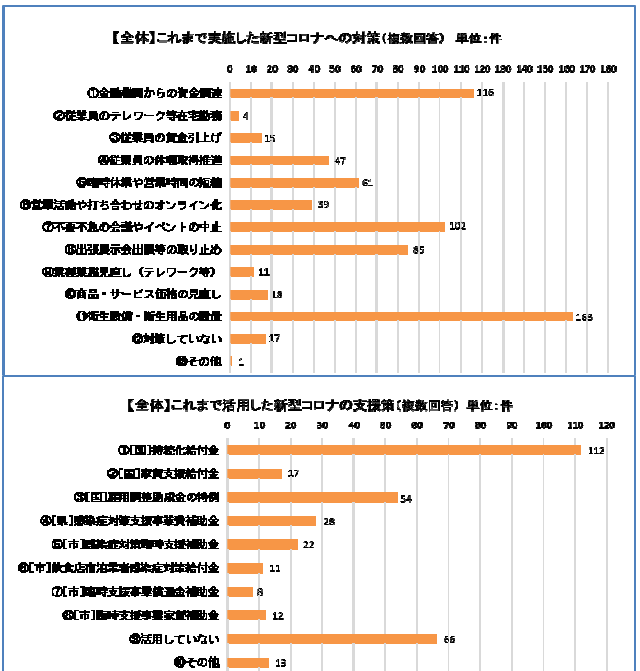


### 【新型コロナウイルスの対策と支援策について】

これまで実施した新型コロナへの対策について複数回答で調査を行ったところ、「衛生設備・衛生用品の設置」と回答した件数が一番多く、次いで「金融機関からの資金調達」「不要不急の会議やイベントの中止」「出張展示会出展等の取り止め」という結果となった。

これまで活用した新型コロナの支援策について、こちらも複数回答で調査を行ったところ、「持続化給付金」と回答した事業所が多数を占めた。他に「雇用調整助成金の特例」「岩手県地域企業感染症対策等支援費事業補助金」「奥州市中小企業感染症対策臨時支援補助金」を活用したという回答が多かった。

その一方で「活用していない」という回答が非常に多く寄せられ、その理由は「要件に該当しない・満たしていない」「活用出来る支援策が無い」「対象ではない」という内容だった。業種や規模によっては未だ全ての事業所に対応し切れていない状態が伺える。



# 奥州市景気動向調査結果

令和2年10月調査結果

## 「全産業の業況DI、売上DI共に改善

先行きは業況、売上共緩やかに改善見通しを示す」

### 【結果のポイント】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲60.2と、前回調査(▲70.2)から10.0ポイント改善した。業種別では全産業マイナスの数値ではあるが、小売・卸売・建設・サービス業で前回よりも数値が改善を示す結果となった。しかし製造業では大きくマイナス幅が拡大する結果となった。

全産業の売上・採算・資金繰りDIについては、売上DIは▲64.8と、前回調査(▲68.3)から3.5ポイント改善した。また、採算DI・資金繰りDIの数値は改善したが、仕入単価DIは数値が悪化、従業員DIは数値が若干ではあるが悪化を示す結果となった

向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、業況DIが全体で▲48.4ポイントとマイナスながら前回見通しを上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。売上DIについても▲52.6ポイントとマイナスながら前回調査(▲67.7)を上回り、回復への期待を示す結果となった。採算・資金繰りDIについては数値が改善したが、仕入単価DIは数値が悪化した。また従業員DIは14.5ポイントと前回(10.4)よりも人手不足感を示す見通しとなった

新型コロナウイルス感染症に対応するための様々な対策と支援策について、これまで実施した新型コロナへの対策についての調査を行ったところ、「衛生設備・衛生用品の設置」と回答した件数が一番多く、次いで「金融機関からの資金調達」「不要不急の会議やイベントの中止」「出張展示会出展等の取り止め」(複数回答)という結果となった。

またこれまで活用した新型コロナの支援策についての調査では、「持続化給付金」と回答した事業所が多数を占め、「雇用調整助成金の特例」「岩手県地域企業感染症対策等支援費事業補助金」「奥州市中小企業感染症対策臨時支援補助金」(複数回答)という回答が多かった。一方「活用していない」という回答が非常に多く、理由は「要件に該当しない・満たしていない」「活用出来る支援策が無い」「対象ではない」という回答が多かった。

新型コロナの影響は感覚的にどの程度の期間まで続くかという設問には、73.5%が「来年4月以降まで続く」と回答、業種別でも4月以降と回答した事業所が大半を占めた。自由意見でも「コロナの影響が来年以降出てくるのでは」「ワクチンが出来るまで影響は続く」という意見があり、多くの事業所で新型コロナの影響が長期的に続くことを危惧している事が伺える。

10月から本格的に始まった消費喚起策「GoToキャンペーン」によって、景気回復の兆しが見え始め、岩手県内でも各地で感染対策を取りながら行事・イベントが徐々に開催されつつある。しかし感染者は未だ全国的に増加傾向にあり予断を許さない状況にある。今回調査で数字的には業況・売上の実績見通し共に改善を示しているが決して楽観視は出来ず、今後も継続した更なる企業への積極的な支援策が必要であると思われる。

### 調査要領

- 調査期間 令和2年10月1日～21日
- 調査対象 奥州市内の事業所から、業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対してファクシミリによるアンケート調査
- 調査項目 令和2年7月～令和2年10月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

#### ※DI値(景況判断指数)について

DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

### 調査票回収状況

回答数 256 回収率 85.3% 小売 47 ・ 卸売 30 ・ 製造 55 ・ 建設 53 ・ サービス 71

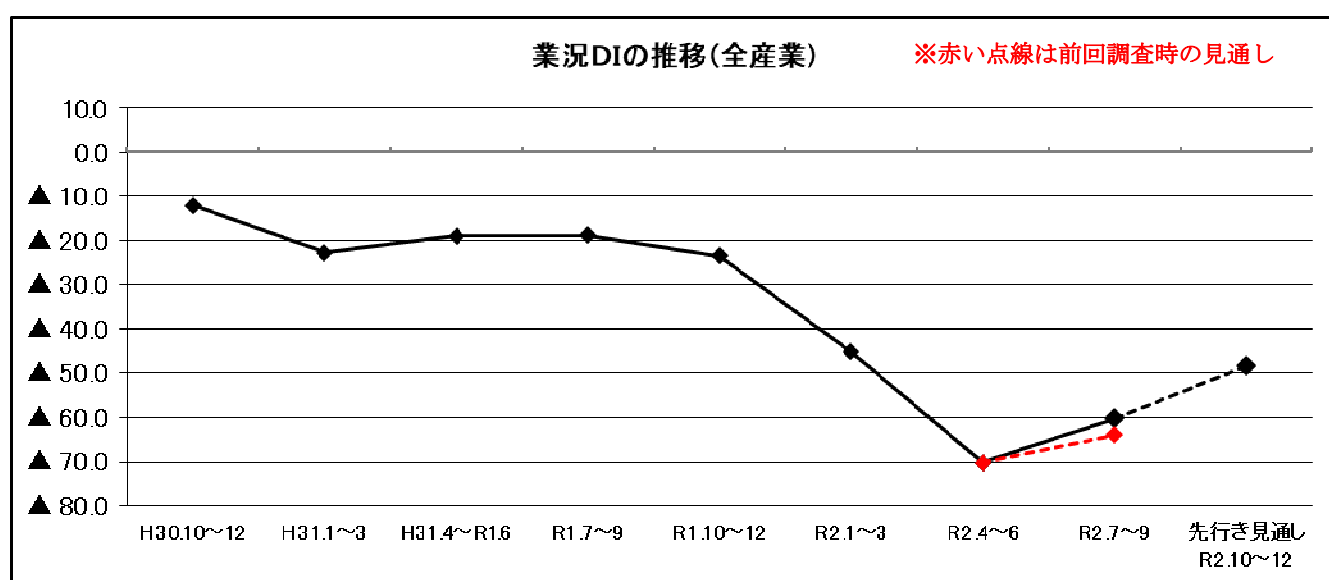
## 【業況についての判断】

○全産業合計の業況DIは▲60.2と、前回調査(▲70.2)から10.0ポイント改善した。業種別では全産業マイナスの数値ではあるが、小売・卸売・建設・サービス業で前回よりも数値が改善を示す結果となった。しかし製造業では大きくマイナス幅が拡大する結果となった。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲48.4と前回調査(▲64.0)より改善する見通しとなり、業種別では全業種で数値が改善の見通しを示している。

### ○業況DI(前年同期比)の推移 【全産業】

H30.10~12	H31.1~3	H31.4~R1.6	R1.7~9	R1.10~12	R2.1~3	R2.4~6	R2.7~9	先行き見通し R2.10~12
▲11.9	▲22.7	▲18.9	▲18.8	▲23.4	▲45.2	▲70.2	▲60.2	▲48.4



### ○業況DI(業種別)

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲70.2	↕ ▲56.7	↘ ▲81.8	↗ ▲24.5	↗ ▲64.8
前回	▲78.7	▲82.8	▲76.4	▲38.9	▲78.1

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲54.3	↗ ▲58.6	↗ ▲50.9	↗ ▲23.5	↗ ▲56.5
前回	▲63.0	▲72.4	▲73.1	▲40.8	▲70.4

前回調査との対比

26.0以上 ↑	25.9~5.1 ↗	5.0~▲5.0 →	▲5.1~▲25.9 ↘	▲26.0以下 ↓
-------------	---------------	---------------	-----------------	--------------

※以降の表も同様

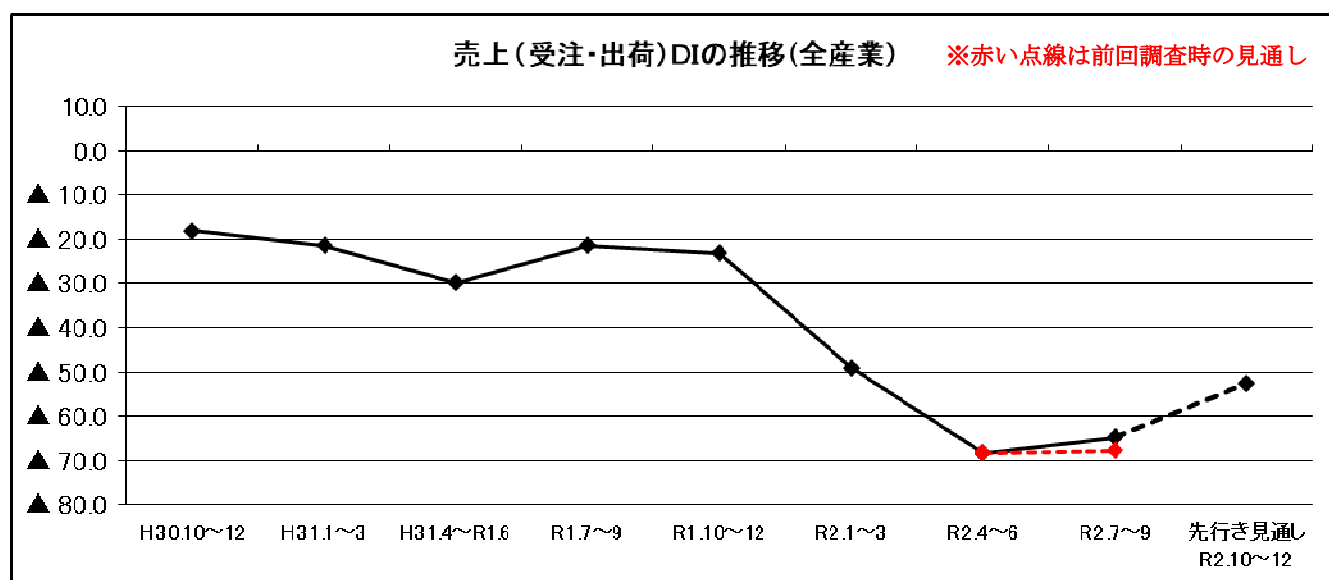
## 【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

○全産業合計の売上DIは▲64.8と、前回調査(▲68.3)から3.5ポイント改善した。業種別では小売・卸売・サービス業で数値が改善、製造・建設業で数値が悪化した。

向こう3ヵ月（10月～12月）の先行き見通しについては、▲52.6ポイントとマイナスながら前回調査(▲67.7)を上回り、回復への期待を示す結果となった。業種別では全業種で数値が改善の見通しを示している。

### ○売上（受注・出荷）DI（前年同期比）の推移 【全産業】

H30.10～12	H31.1～3	H31.4～R1.6	R1.7～9	R1.10～12	R2.1～3	R2.4～6	R2.7～9	先行き見通し R2.10～12
▲ 18.1	▲ 21.4	▲ 29.8	▲ 21.4	▲ 23.2	▲ 49.0	▲ 68.3	▲ 64.8	▲ 52.6



### ○売上（受注・出荷）DI（業種別）

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲ 70.2	↗ ▲ 63.3	↘ ▲ 83.6	→ ▲ 39.6	↗ ▲ 66.2
前回	▲ 80.9	▲ 79.3	▲ 69.1	▲ 36.4	▲ 79.5

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	→ ▲ 63.0	↗ ▲ 58.6	↗ ▲ 52.7	↗ ▲ 28.8	↗ ▲ 60.9
前回	▲ 67.4	▲ 79.3	▲ 70.4	▲ 48.0	▲ 75.0

### 【採算の状況についての判断】

○全産業合計の採算D Iは▲58.6と、前回調査(▲62.1)から3.5ポイント改善した。業種別では卸売・製造・サービス業は数値が改善、小売業は横ばい、建設業は数値が悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲51.8と前回調査(▲63.6)より改善する見通しとなり、業種別では全業種で数値が改善の見通しを示している。

#### ○採算D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	→ ▲ 58.6	→ ▲ 70.2	↔ ▲ 56.7	→ ▲ 69.1	→ ▲ 34.0	↔ ▲ 62.0
前回	▲ 62.1	▲ 70.2	▲ 69.0	▲ 72.2	▲ 30.9	▲ 70.4

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲ 51.8	↔ ▲ 56.5	↔ ▲ 55.2	↔ ▲ 58.2	↔ ▲ 30.8	↔ ▲ 58.0
前回	▲ 63.6	▲ 65.2	▲ 75.9	▲ 73.6	▲ 40.0	▲ 66.7

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### 【資金繰りの状況についての判断】

○全産業合計の資金繰りD Iは▲33.6と、前回調査(▲33.9)から0.3ポイント改善した。業種別に見ると小売・建設・サービス業で数値が改善、卸売・製造業で数値が悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲36.3と前回調査(▲37.6)より改善する見通しとなり、業種別では小売・サービス業で数値が改善、卸売・製造・建設で悪化の見通しを示している。

#### ○資金繰りD I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	→ ▲ 33.6	↔ ▲ 29.8	↓ ▲ 46.7	↓ ▲ 45.5	→ ▲ 7.5	→ ▲ 40.8
前回	▲ 33.9	▲ 44.7	▲ 37.9	▲ 35.2	▲ 10.9	▲ 41.7

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	→ ▲ 36.3	↔ ▲ 34.8	→ ▲ 41.4	→ ▲ 41.8	→ ▲ 21.2	→ ▲ 42.0
前回	▲ 37.6	▲ 43.5	▲ 37.9	▲ 41.5	▲ 17.6	▲ 45.1

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### 【仕入単価の状況についての判断】

○全産業合計の仕入単価D Iは▲18.1と、前回(▲13.9)から4.2ポイント悪化した。業種別に見ると全業種で数値が悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲23.6と前回(▲17.6)より悪化する見通しとなり、業種別では建設業で改善、小売・卸売・製造・サービス業で数値が悪化の見通しを示している。

#### ○仕入単価D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲18.1	➡ ▲6.5	⬇ ▲41.4	➡ ▲9.1	➡ ▲26.4	➡ ▲16.9
前回	▲13.9	▲6.4	▲25.0	▲5.5	▲24.5	▲13.0

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	⬇ ▲23.6	➡ ▲15.6	➡ ▲40.7	⬇ ▲23.6	↗ ▲19.2	⬇ ▲25.4
前回	▲17.6	▲13.0	▲35.7	▲5.6	▲30.6	▲13.2

※D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

### 【従業員の状況についての判断】

○全産業合計の従業員D Iは8.7と、前回(7.1)から1.6ポイントと若干ではあるが悪化を示す結果となった。業種別では小売・卸売・製造業で人手不足感が緩和、建設・サービス業で人手不足感が強まった。特に製造業は▲14.5ポイント(前回▲12.7)と従業員の過剰状態が継続している。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、14.5と前回(10.4)よりも人手不足感を強める見通しとなった。業種別では小売・製造・サービス業で人手不足感を示し、卸売業で横ばい、建設業で人手不足感が緩和する見通しとなった。

#### ○従業員D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 8.7	➡ 17.4	➡ 3.3	➡ ▲14.5	➡ 28.8	↗ 8.6
前回	7.1	17.8	6.9	▲12.7	25.5	1.4

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 14.5	➡ 20.0	➡ 6.9	↗ ▲3.6	➡ 31.4	↗ 16.2
前回	10.4	17.8	6.9	▲11.3	33.3	6.9

※D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)



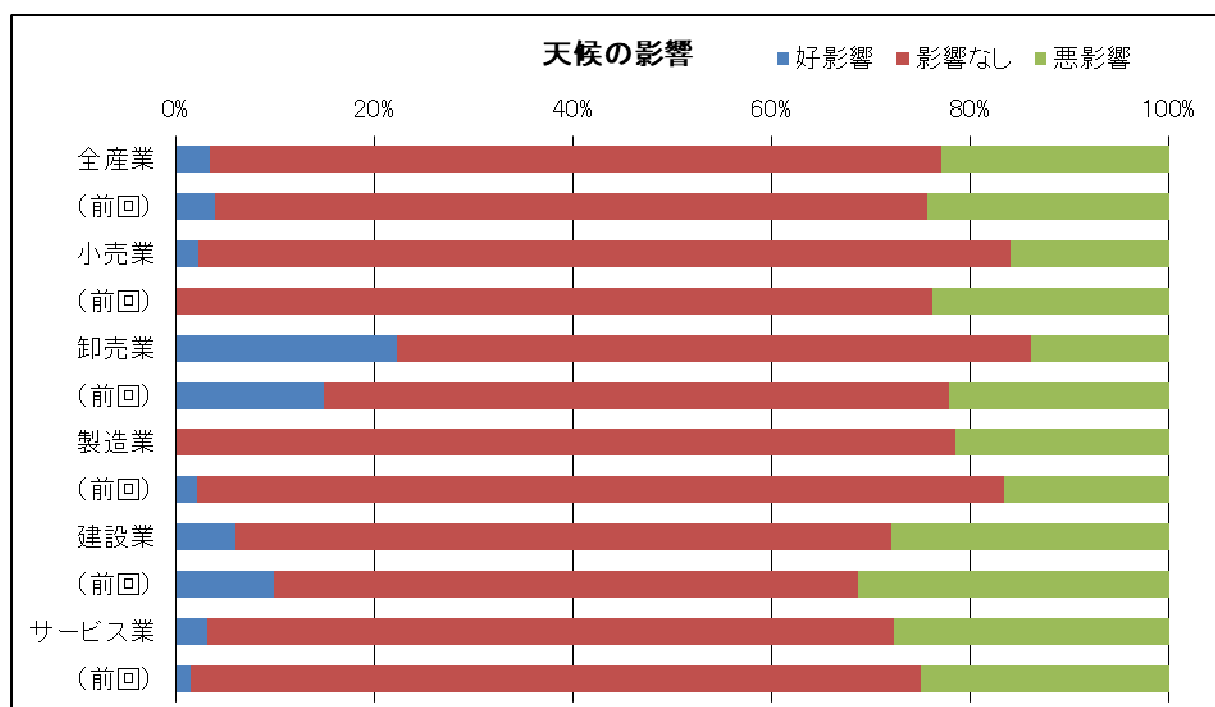
## 《経営環境》

### 【天候の影響】

○天候の影響は、全産業で好影響が3.3%、影響なしが73.8%、悪影響が22.9%の回答となった。業種別では卸売業が22.2%、建設業が6.0%好影響と答え、建設業が28.0%、サービス業が27.7%悪影響と答えた。前回比で見ると、卸売業で好影響の割合が増加した。

○天候の影響（業種別影響割合）

	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
好影響	3.3%	2.3%	22.2%	0.0%	6.0%	3.1%
影響なし	73.8%	81.8%	63.9%	78.4%	66.0%	69.2%
悪影響	22.9%	15.9%	13.9%	21.6%	28.0%	27.7%

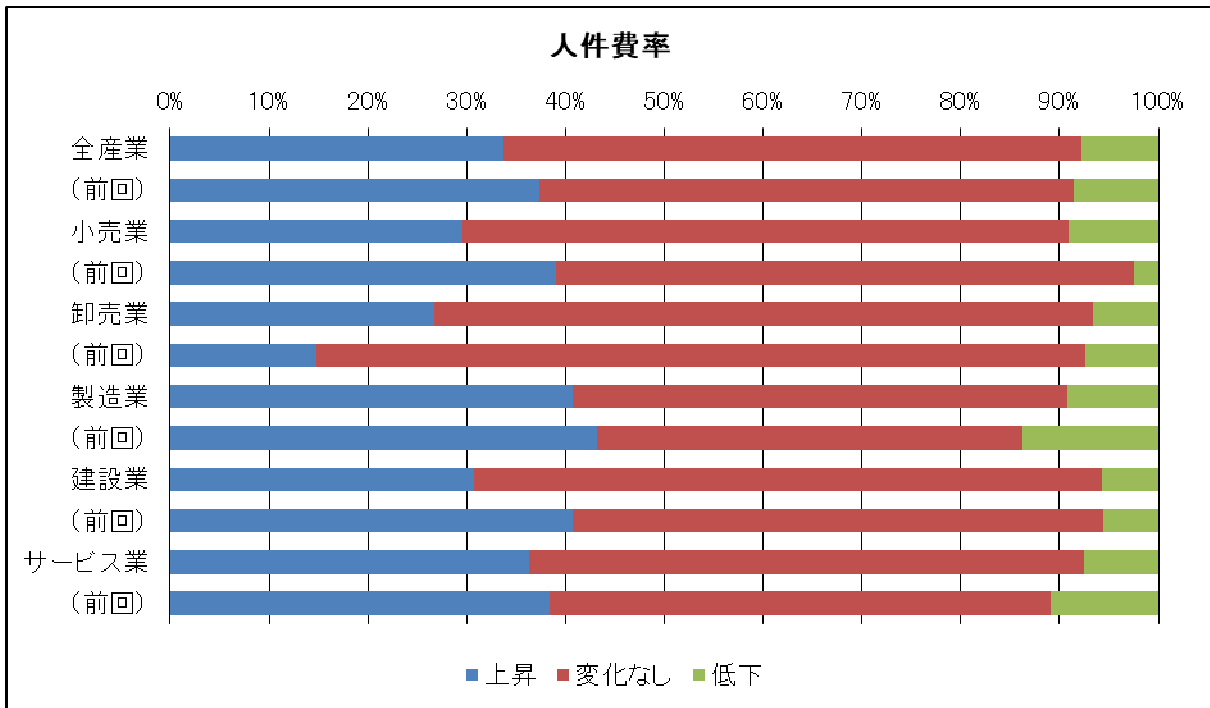


### 【人件費率】

○人件費率は、全産業で上昇が33.7%、変化なしが58.5%、低下が7.7%という回答となった。業種別に見ると製造業で40.7%、サービス業で36.4%が人件費上昇と回答した。前回比で見ると、卸売業で上昇の割合が増加し、小売業で低下の割合が増加した。

○人件費率（業種別人件費率割合）

	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
上昇	33.7%	29.5%	26.7%	40.7%	30.8%	36.4%
変化なし	58.5%	61.4%	66.7%	50.0%	63.5%	56.1%
低下	7.7%	9.1%	6.7%	9.3%	5.8%	7.6%

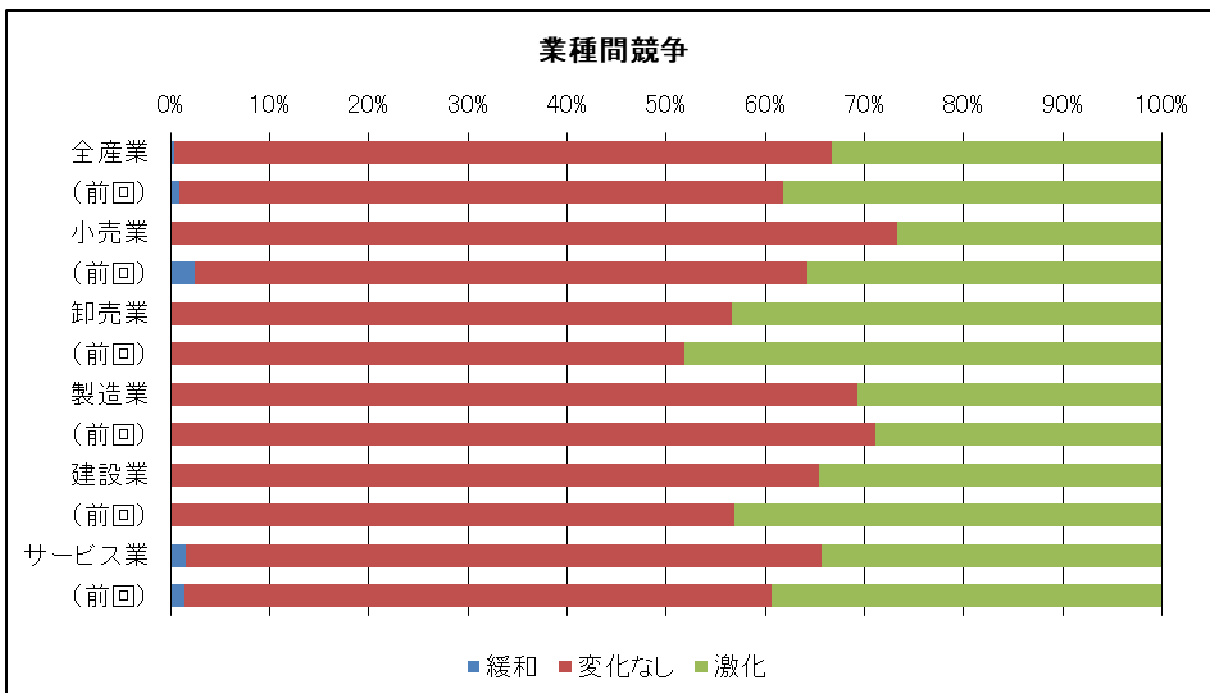


### 【業種間競争】

○業種間競争は、全産業で緩和が0.4%、変化なしが66.3%、激化が33.3%という回答となった。業種別では緩和の回答がサービス業のみだった。前回比で見ると製造業で変化なしの割合が減少し激化の割合が増加した。

○業種間競争（業種別競争状況割合）

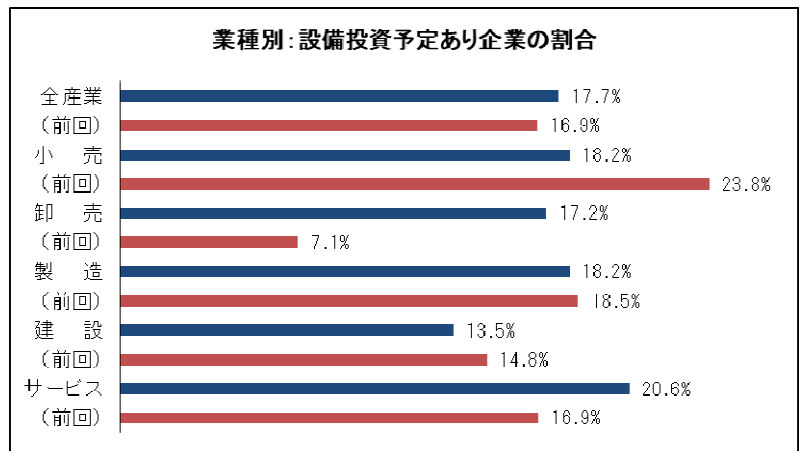
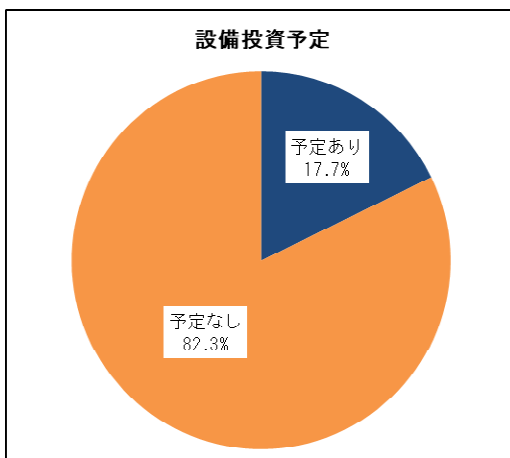
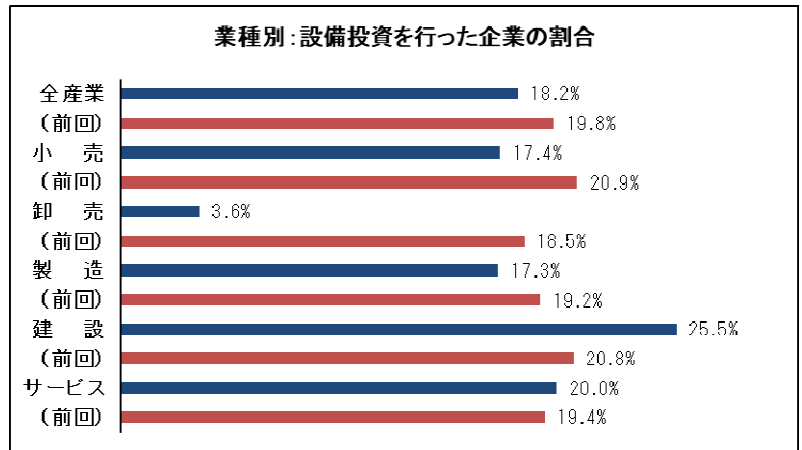
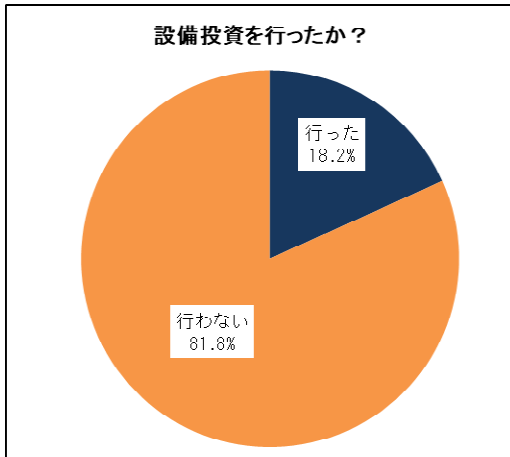
	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービ
緩 和	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
変 化 な し	66.3%	73.3%	56.7%	69.2%	65.4%	64.2%
激 化	33.3%	26.7%	43.3%	30.8%	34.6%	34.3%



## 【設備投資】

○設備投資は全産業で18.2%の事業所で「行った」と回答があり、前回(19.8%)より減少した。業種別では建設業で25.5%、サービス業で20.0%が「行った」と回答した。前回比で見ると卸売業で「行った」の回答が大幅減少した。

今後設備投資の予定があると答えた事業所は17.7%となり前回調査(16.9%)より増加した。業種別ではサービス業で20.6%、小売・製造業で18.2%が「行なう予定」と回答した。前回比で見ると卸売業で「行う予定」の回答が大幅増加した。



## 「臨時調査」

### 【新型コロナウイルスの対策と支援策について】

新型コロナウイルス感染症に対応するための様々な対策と支援策について調査を行った。

これまで実施した新型コロナへの対策について複数回答で調査を行ったところ、「衛生設備・衛生用品の設置」と回答した件数が一番多く、次いで「金融機関からの資金調達」「不要不急の会議やイベントの中止」「出張展示会出展等の取り止め」という結果となった。

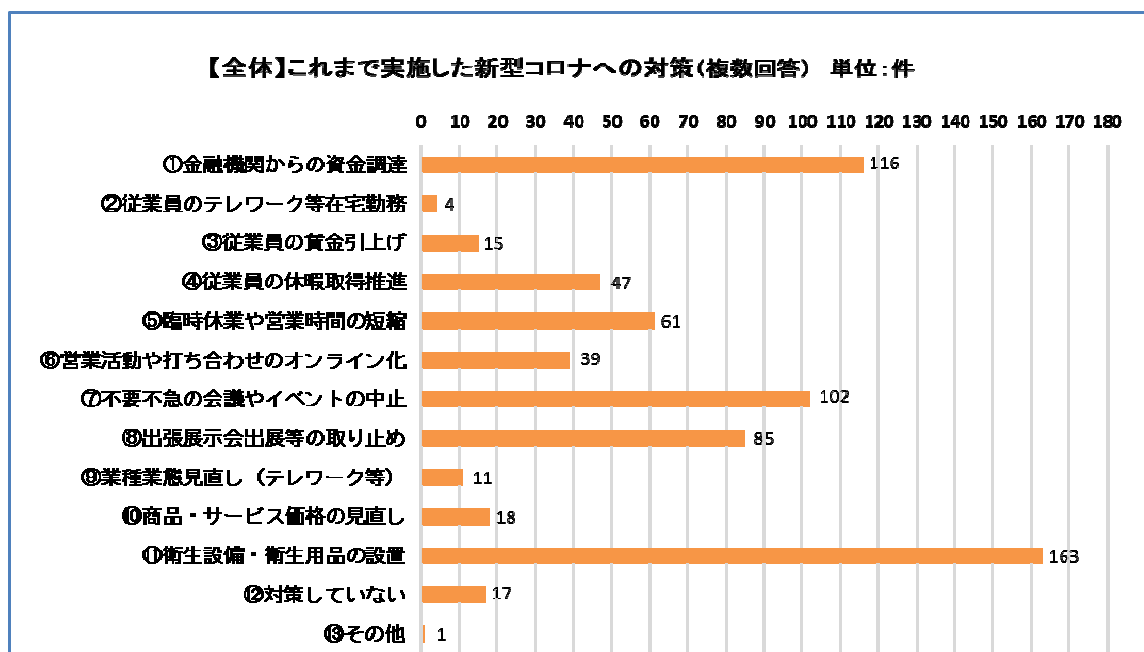
業種別でもこの傾向は変わらず、全業種が感染防止対策の基本である「衛生対策」に取り組み、金融機関からの融資等にて運転・設備等資金調達を図っている事が伺える。

これまで活用した新型コロナの支援策について、こちらも複数回答で調査を行ったところ、「持続化給付金」と回答した事業所が多数を占めた。他に「雇用調整助成金の特例」「岩手県地域企業感染症対

策等支援費事業補助金」「奥州市中小企業感染症対策臨時支援補助金」を活用したという回答が多かった。その一方で「活用していない」という回答が非常に多く寄せられている。その理由は「要件に該当しない・満たしていない」「活用出来る支援策が無い」「対象ではない」という内容だった。新型コロナに関する支援策は、国・県・市から用途に応じた様々なメニューが示されているが、業種や規模によっては未だ全ての事業所に対応し切れていない実態が伺える。

新型コロナの影響は感覚的にどの程度の期間まで続くかという設問には、73.5%が「来年4月以降まで続く」と回答、業種別でも4月以降と回答した事業所が大半を占めた。自由意見でも「コロナの影響が来年以降出てくるのでは」「ワクチンが出来るまで影響は続く」という意見があり、多くの事業所で新型コロナの影響が長期的に続くことを危惧している事が伺える。

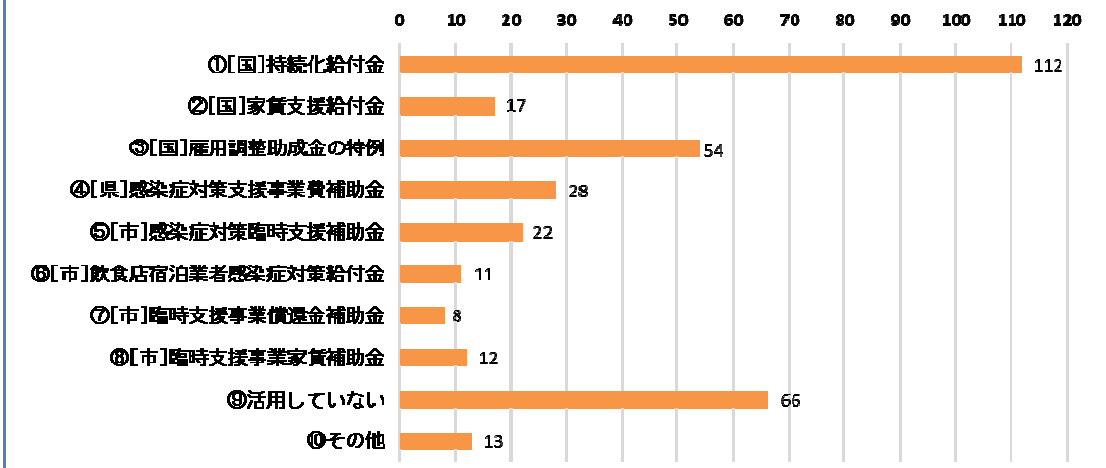
10月から本格的に始まった消費喚起策「GOTキャンペーン」によって、景気回復の兆しが見え始め、岩手県内でも各地で感染対策を取りながら行事・イベントが徐々に開催されつつある。しかし感染者は未だ全国的に増加傾向にあり予断を許さない状況にある。、今回調査で数字的には業況・売上の実績見通し共に改善を示しているが決して楽観視は出来ず、今後も継続した更なる企業への積極的な支援策が必要であると思われる。



【業種別】これまで実施した新型コロナへの対策(複数回答) 単位:%

	小売業	卸売業	製造業	建設業	サービス業	全業種
①金融機関からの資金調達	44.7	35.7	54.5	41.5	48.5	46.2
②従業員のテレワーク等在宅勤務	0.0	0.0	1.8	1.9	2.9	1.6
③従業員の賃金引上げ	6.4	3.6	1.8	9.4	7.4	6.0
④従業員の休暇取得推進	14.9	17.9	30.9	7.5	20.6	18.7
⑤臨時休業や営業時間の短縮	36.2	14.3	30.9	5.7	29.4	24.3
⑥営業活動や打ち合わせのオンライン化	8.5	14.3	25.5	15.1	13.2	15.5
⑦不要不急の会議やイベントの中止	36.2	39.3	41.8	50.9	35.3	40.6
⑧出張展示会出展等の取り止め	38.3	57.1	50.9	18.9	19.1	33.9
⑨業種業態見直し(テレワーク等)	8.5	0.0	0.0	0.0	10.3	4.4
⑩商品・サービス価格の見直し	8.5	14.3	5.5	1.9	8.8	7.2
⑪衛生設備・衛生用品の設置	57.4	57.1	63.6	62.3	76.5	64.9
⑫対策していない	10.6	3.6	0.0	13.2	5.9	6.8
⑬その他	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4

【全体】これまで活用した新型コロナの支援策(複数回答) 単位:件



【業種別】これまで活用した新型コロナの支援策(複数回答) 単位:%

	小売業	卸売業	製造業	建設業	サービス業	全業種
①[国]持続化給付金	46.8	28.6	30.9	58.5	50.0	44.6
②[国]家賃支援給付金	6.4	7.1	0.0	3.8	14.7	6.8
③[国]雇用調整助成金の特例	12.8	21.4	38.2	3.8	27.9	21.5
④[県]感染症対策支援事業費補助金	17.0	17.9	3.6	1.9	17.6	11.2
⑤[市]感染症対策臨時支援補助金	6.4	10.7	5.5	1.9	17.6	8.8
⑥[市]飲食店宿泊業者感染症対策給付金	4.3	3.6	0.0	0.0	11.8	4.4
⑦[市]臨時支援事業償還金補助金	2.1	0.0	3.6	5.7	2.9	3.2
⑧[市]臨時支援事業家賃補助金	6.4	3.6	3.6	1.9	7.4	4.8
⑨活用していない	19.1	39.3	29.1	22.6	26.5	26.3
⑩その他	14.9	3.6	1.8	3.8	2.9	5.2

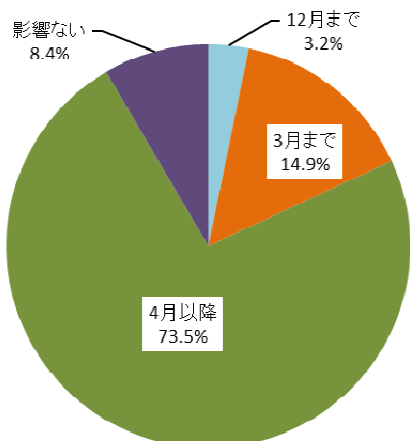
『⑨活用していない』主な理由

- ・活用出来る支援策が無い、該当しない、必要としなかった、本社から補助がある、要件を満たしていない、対象ではない、手続きに手間がかかる、休業も売上減少も無い

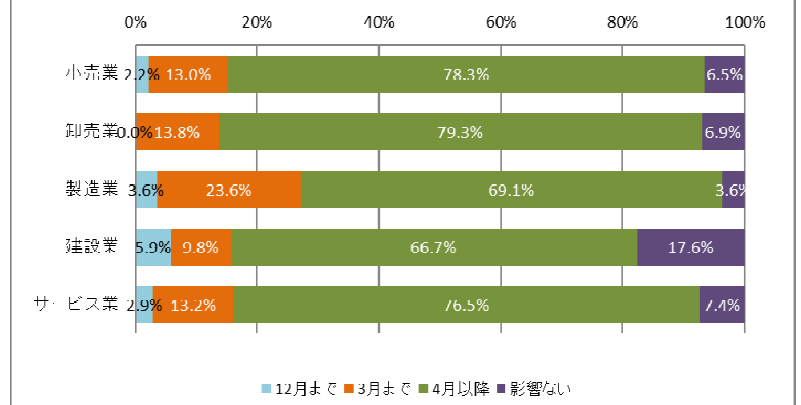
『⑩その他』主な理由

- ・これから活用する、今後申請予定

影響はどの程度の期間まで続くと思うか (全産業)



影響はどの程度の期間まで続くと思うか(業種別)



## 自由意見

### (小売業)

- ・ 1日の客が10人程度なので3密になることは殆ど無く、コロナ以前とあまり変わらない。
- ・ 何でもいいから消費喚起策をやってください。
- ・ 奥州市の路面店はほぼ影響は無くなった気がする。モール型のテナントは未だ集客も売り上げも2割減というところ。
- ・ 店内に消毒液を設置している。
- ・ 市内に人の流れが全くなく、これから先どうなるのかと不安ばかり。
- ・ 店にお客も来ないし配達も無い。
- ・ 奥州市で感染者が出てから、より深刻な市場状況になっている。

### (卸売業)

- ・ 観光地や旅館ホテルに人手が増えてきているように思える。GOTOキャンペーンの効果が少しずつ感じられる。
- ・ 取引先から昨年の売り上げを参考にして前倒しで12月分までの加工売上の仕事を貰って売上を確保している。
- ・ とにかく一刻も早くコロナの終息を願うのみ。
- ・ 3密を避けるためも含め会社行事の取り止めもあり、当社の取引先のレジャー施設での売上に不安を感じている。

### (製造業)

- ・ 仕事を選ぶ状況ではないため薄利でも受けている。仕事量の割には利益が出ない。
- ・ 生産量の減少により、部署や個人の能力によって業務に偏りが生じている。雇用調整金を受給している立場上解雇は出来ないため、部署間の応援移動で不公平感を出さない環境を作っている。

### (建設業)

- ・ 新型コロナウイルスの影響が来年以降顕著に出てくるのではないかと危惧している。
- ・ コロナの影響で受注が思うように進まない。社内総意で営業に取り組んでいる。市の発注工事はA級のみでB級以下が非常に少ない。

### (サービス業)

- ・ 補助金のアドバイスが欲しい。
- ・ GOTOトラベルの予算終了ごの反動で、客足と売上減となることが予想される。企業価値を高めるための従業員教育が重要だと思う。
- ・ 全ての給付金が対象外で経営状況は非常に苦しくなっており、1事業所を閉鎖した。
- ・ ワクチンが出来るまで影響は続くと思う。